



梶原建設株式会社

<https://kajiken.co.jp>



普段何気なく見ている
カーブミラーにも
1つ1つ物語があるんだね



交通事故防止と再発防止が使命

梶原建設株式会社の使命は、誰もが道路を安全に安心して利用できるようにすること。車から歩行者を守るガードレールや視界の悪いカーブの視認性を高めるカーブミラー、各種標識、横断歩道などを、現場の状況を判断しながら設置する仕事だ。「危険な箇所を発見したら、事故防止の観点から最適な交通安全施設とその

設置方法を考え、設計から施工・管理まで行います。事故が起こった場所については再発を防ぐための工事を行うこともあります」(常務取締役 統括事業本部長・梶原匡弘氏)

事故を防ぐ方法は道路の状況によって千差万別で、最適なものを選ぶには相応の知識や経験が欠かせない。梶原建設はその技術力の高さに定評があり、お客様から信頼されている。

また、当社には急激に伸びているも



↓ 本社外観



↓ 同僚社員



↓ 現場での作業風景



う1つの事業がある。それがセラミックコーティングだ。建築構造物や車などを保護して劣化を防ぐ技術だが、同社はこれを墓石に施すことで新たなビジネスを創出した。

「核家族化や高齢化が進み、こまめにお墓を掃除できないケースが増えているのでしょ。近年、問い合わせがかなり増えています」(梶原氏)

今後はフランチャイズ化も視野に、事業の更なる拡大を目指している。



自分の仕事が安全につながる

ご家族が交通事故にあった経験を持つ伊東雄太さんは、交通事故防止に強い思いがあり、高校卒業と同時に梶原建設に入社した。それから7年、数々の現場で現場監督を担い、事故防止につながるノウハウを身につけ、現在は複数の現場を管理する現場代理人を務

めている。「道路をパトロールして、カーブミラーの視認性が悪いなど歩行者の安全が確保できていない箇所を探し、発注者に改善提案をします。また、担当している現場の現場監督や職人さんが困っていれば改善できるよう対応することも。1つの現場だけに集中できていた現場監督時代より求められる知識は幅広く、目を配るべき部分も多いので苦労していますね。でも、自分が仕事を全うできれば、それだけ事故を防ぐことにつながるの、やりがいがあります」(伊東さん)

人見知りです。ここまで成長できたのは先輩方のおかげだと続ける。「20代から70代まで幅広い年齢の方がいるのですが、皆さん教え方が丁寧で、とにかく優しいんです。そこも当社の魅力です」(伊東さん)

★経営陣に聞く★



常務取締役
統括事業本部長
梶原 匡弘氏

自分が暮らす街を守る。だからこそやりがいも大きい

交通安全施設的设计・施工を行っているエリアは東京都内、中でも世田谷や調布、板橋や目黒が中心です。私が生まれ育った地域であるため、自分を育ててくれた地元の安全確保に貢献するという意識が強くあります。社員も都内に住んでいる人が多く、生活を送っている街のために役に立てるといいうやりがいがあるようです。墓石の事業も先祖が眠るお墓をきれいにしておきたいという方々の気持ちに応えるもので、人の役に立つ実感を得られる仕事です。

Corporate DATA

【創業・設立】
創業・1973年4月
設立・1975年4月

【資本金】
1,000万円

【所在地】
◎本社
東京都世田谷区
給田4-12-18
梶原ビル

【事業内容】
交通安全施設的设计・施工・管理、セラミックコーティングの施工など

【従業員数】
31名
(2021年8月時点)
※社内は幅広い年齢層の社員が活躍中です。世代は違っても丁寧な指導するなど、和気あいあいとした雰囲気があります。